

オープンサイエンスの推進に向けた協会の行動計画

令和元年12月27日
国立大学図書館協会

(趣旨)

- ・ オープンサイエンスのうち、研究データ管理、オープンリサーチデータの推進のため、会員館の取り組みを支援することを目的とした協会の行動計画とする。
- ・ 短期(1～2年)と中期(3～5年)に分けた計画とする。
- ・ 学術コミュニティ、政府、大学等の動向や変化に応じて柔軟に変更、修正しうるものとする。

(計画)

- ・ アドボカシー活動の推進
 - 短期:オープンサイエンスに関する基礎的な知識の習得や一般的な理解を広めるため、会員館の構成員各層(経営層、ミドル層、担当者)に対するオープンサイエンス全体の概念についての情報共有、啓発の活動を行う。
 - 中期:研究データ管理、公開の円滑化について諸団体と協議を進める。
- ・ 人材の育成
 - 短期:会員館の実情に応じたデータマネジメント活動の中核となる人材の育成を目指し、外部組織と連携し、データマネジメント人材の育成プログラムの作成に協力する。
 - 中期:短期期間に育成した人材をさらに後進の指導にあたる人材へと育成する。
- ・ 先導的事業の推進
 - 短期:協会予算の一部を充当し、会員館(複数の会員館による連携事業を推奨)の優れた計画に対する助成を行う。
 - 中期:協会の横の連携を図った事業を計画し、外部資金の獲得を図り、実施する。

以上